■大鵬幸喜 たいほうこうき 第48代横綱。優勝32回,6連覇2度。端正な風貌で人気沸騰。「柏鵬時代」現出も,強すぎる故の大相撲低迷に。

大政翼賛会・1940= 樺太敷香(しすか)郡敷香町(サハリン州ポロナイスク市)で、ロシア革命後に亡命してきたたウクライナ人の

コサック騎兵隊将校マルキャン・ボリシコと納谷キョの三男に、生まれる。本名納谷幸喜。

**日米開戦・・1941**= 1歳:

**敗戦・・・・**1945= 5歳:ソ連軍が南樺太へ侵攻してきたため,母とともに,最後の引揚げ船{小笠原丸}で北海道に向かい,母が体調 を壊したため、稚内で下船、その後の撃沈を免れる。再婚した母の相手が教師だったことから、岩内町、訓 子府町、斜里町岩尾別、夕張市と転々とし、貧しさを凌ぐため、子どもながら、納豆を売り歩く。

三大事件・・1949= 9歳:

朝鮮戦争始・1950=10歳:母が離婚し、納谷姓に戻る。

**独立回復・・**1951=11歳:弟子屈町に落ち着く。

TV放送始・・1953=13歳: 弟子屈町立川湯中学校に入学。

55年体制始・1955=15歳:3年になると、家計と自分の小遣いのため、営林署の原生林の下草刈り。学校では机や椅子を修理し

国連加盟・・1956=16歳:卒業時に表彰。弟子屈営林署に勤務しながら、北海道弟子屈高校(定時制)に通う。\_背が高くて鍛えられた 身体が二所ノ関部屋の元力士の目にとまり、彼の紹介で、伯父とともに、二所ノ関一門の訓子府町の巡業を 見学、母の反対も伯父の説得で、そのまま上京して入門。四股名は本名の「納谷」で(秋)初土徒。二所ノ関親 方代、伊佐賀ノ花)は素質を見扱いて、"鬼軍世"と呼ばれた十両瀧見山を特殊に、猛烈な英才教育。

インスタントラーシ・1958=18歳: 自信がつき始め、(春)三段目で8戦全勝優勝、幕下にあがった(夏)は、優勝決定戦まで行く。猛稽古のせいか、蓄膿症を患って手術し、(秋)初めて負け越すが、その後三場所は連続して大勝ちし、

美智子妃・・1959=19歳:\_わずか14場所で十両に昇進,親方が温めていた「大鵬」の四股名を与えられる。新十両の(夏),盲腸炎にな

美智子妃・・1959=19歳: わずか14場所で十両に昇進,親方が温めていた「大鵬」の四股名を与えられる。新十両の(夏),盲腸炎になるも気力で勝ち越し、早くも人気は鰻登り。(九州)優勝し、安保闘争・・1960=20歳:\*(初)新入幕,11連勝の快進撃,小結柏戸に当てられて敗れるが,敢闘賞。(夏)「栃若時代」を担った名横綱 栃錦が引退、(名古屋)小結にあがり、関脇柏戸とともに期待に違わぬ好成績、(秋)柏戸の大関昇進とともに , 史上最年少で新関脇となり、技能賞。(九州)の優勝,大関に昇進いずれも史上最年少,年間最多勝(66勝) ・ 後得する強さで、"巨人・大鵬・卵焼き"が流行語、「柏鵬時代」となり、両者が熾烈な横綱先陣争い。 (冬1個/病始・1961=21歳: (名古屋)大関で初優勝、2度目の優勝で、横綱推薦の声もわき上がるが、時期尚早で見送り。(秋)優勝決定 巴戦制して連覇、史上最年少で柏戸と横綱同時昇進に至る。(九州)新横綱で優勝、14年よりの3連覇。全国総合計画1962=22歳: 脚気に悩まされながら、(初)優勝し、(羽黒山以来)史上5人目15年ぶりの4連覇。(春)後の若乃花の引退, 片男波移籍騒動も影響なく、(名古屋)3場所ぶり優勝。以後、優勝が続き、回数で、柏戸を大きく引離す。 TV宇宙中継始1963=23歳: (夏)柏戸全体のなか、初の全勝で史上初の6連覇。(名古屋)伏兵に屈し30連勝でストップ、優勝も逃す。東京利パパック1964=24歳: (初)全勝優勝でV12、双葉山と並ぶ史上最多タイになる。(春)柏鵬と2度目の全勝対決で、雪辱しV13。(夏) 34連勝でストップ。(名古屋)場所前のヨーロッパ旅行の強行日程と稽古不足が災いし、絶不調。本態性高血圧で入院し、初の体場。退院後、親方から命じられて、静岡県三島市の瀧沢寺に参禅、精神修養で慢心を払払、(秋)巡業中の怪我も乗り越え、復活優勝。(九州)連覇して、再起不能説を吹き飛ばした。大学紛争始・1965=25歳: 柏戸や北の富士と共にアメリカから拳銃を密輸入していたことが発覚して書類送検され、攻めの相撲の柏戸の休場続くなか、一人勝ちの様相で、大相撲人気が低迷、民放がTV中継から次々撤退。(夏)高血圧で不調、

の休場続くなか、一人勝ちの様相で、大相撲人気が低迷、民放がTV中継から次々撤退。(夏)高血圧で不調、

左足首を骨折し、千秋楽休場。(名古屋)強行出場し、**\_2差からの大逆転優勝で、不死身ぶり見せつける。** 場所前の連合稽古で右ビザ内側側副靭帯を損傷、(初)初の全休。**\_(春)積極相撲に転じ、本割で敗れた柏戸** いざなぎ景気1966=26歳:場所前の連合稽古で右ビザ内側側副靭帯を損傷,(初)初の全休。**\_(春)積極相撲に転じ,本割で敗れた柏戸に決定戦で雪辱,またも復活優勝。場所後に婚約発表。婚約に花添える4連覇。** 美濃部都知事1967=**27歳**:(初)全勝で2度目の6連覇達成,優勝は24回になる。(春)取りこぼし,再び34連勝でストップ。小国芳子と挙

式・披露宴。(名古屋)左ヒジを痛め途中休場。(九州)独走態勢に入るも、再び左ヒジ骨折で途中休場。

霞ヶ関ピル・ 1968=28歳:「大鵬慈善ゆかた」などを販売して収益を寄贈する活動を始める。(初)高血圧と気管支炎で途中休場。故障続

ト゚ルショック・・ 1971=31歳:\*(初)千秋楽,本割で玉の海に勝って並び,決定戦での死闘を制して,逆転優勝するが,身体の状態は限界 に達し,(夏)貴ノ花に敗れて引退を決意。(秋)後,断髪披露引退相撲,太刀持ちに玉の海,露払いに北の富

士を従えて、最後の横綱土俵入り。そのわずか9日後に、玉の海が急死し衝撃を受けた。大鵬部屋を創設、

石油ショック1973=33歳:

非主流派とみなされる二所ノ関所属の親方として、出世は遅いと見られていたが、

田中角栄逮捕1976=36歳: 異例の若さで役員待遇・審判部副部長に就任するも,

JALハイジャック・1977=37歳:脳梗塞で倒れ、後遺症。不屈の精神と妻芳子の献身のリハビリで、かなり回復し、 貿易摩擦問題1980=40歳:{日本相撲協会}理事に就任。名古屋場所担当部長、相撲教習所所長などを歴任、

中曽根内閣・1982=42歳: \_人格者ぶりが知られ,「世界人道者賞」を受賞。

ジャンボ機墜落1985=45歳: 55年体制終・1993=53歳: 自社さ連立・1994=54歳:

・・・・・1996=56歳:好敵手だった柏戸が死去。役員待遇へ退く。 ・・・・・2000=60歳:**\_自身同様"昭和の大横綱"と評される北の湖(太刀持ち)と千代の富士(露払い)を従えて,還暦土俵入り。** 小泉9.11テロ2001=61歳:父マルキャン・ボリシコの生涯が明らかになり、サハリン州の日本研究家の働きかけで、ウクライナのハリ キフ市に大鵬記念館が建設され、自身も、相撲大会を企画、両国の交流の主役として脚光を浴びる

小泉北朝鮮・2002=62歳:ロシア連邦にも及び、北オセチア共和国出身のボラーゾフ兄弟を日本に招き、兄は四股名を「露鵬」として自分の部屋に、弟を二十山部屋に入門させている。

イラク戦争・2003=63歳・

小泉郵政選挙2005=65歳: {日本相撲協会}を停年退職,相撲博物館館長に就任。部屋は娘婿の貴闘力に譲り,大嶽部屋になるが, リーマンショック・・2008=68歳: 体調不良を理由に退任。「露鵬」は小結まで昇進するも、ドーピング検査で大麻の陽性反応が出て解雇。大嶽が責任を問われて、平年寄への2階級降格処分を受け、北の湖理事長も辞任となった。 民主党政権・2009=69歳:この年まで40年間、日赤やNHK文化事業団に、血液運搬車を贈り続ける。\_相撲界初の文化功労者。・・・・・・2010=70歳:貴闘力が賭博問題で解雇、大鵬の直弟子の大竜忠博が部屋を継ぐことになった。 東日本大震災2011=71歳:この頃から、酸素ボンベを関係して100円するようになり、

安倍政権発足2012=72歳: 心室頻拍で慶応大学病院に入院, 頸髄損傷で入院中の尾車(元大関琴風)を見舞い, 励ましたりしたが, ・・・・・・2013=73歳: 二所ノ関部屋が消滅し、弟子屈町で暮らす実兄納谷幸治が急性心筋梗塞で急逝まもなく、**\_没した。大の親** 

友だった王貞治ら,一流スポーツ人が想い出の談話を発表しており,政府は,国民栄誉賞を追贈した。